



第60回日本腎臓学会学術総会

The 60th Annual Meeting of the Japanese Society of Nephrology

Prof. Allen W. Cowley, Jr.

テーマ：臨床と研究の両面で役立つ腎生理

Cowley 先生は、1980 年より Department of Physiology at the Medical College of Wisconsin (MCW) の主任教授を務めておられます。数々の学会からその業績は賞賛され、また American Physiological Society (APS)、International Union of Physiological Sciences や High Blood Pressure Research of the American Heart Association (AHA) 等々の代表も歴任されています。Cowley 先生の研究は、圧受容器反射、レニン-アンジオテンシンやバソプレッシンによる血圧調整に関するものから始まり、腎内血流とナトリウム調節機構や酸化ストレスに関するものや、腎生理と高血圧の遺伝学を結ぶ physiological genomics にまで及びます。先生は学位取得後の 1968 年から University of Mississippi Medical Center (UMMC) で研究活動を開始され、MCW に移動されるまでの間は UMMC で過ごされました。UMMC では世界的ベストセラー『ガイトン臨床生理学』の著者 Arthur C. Guyton 先生に師事されています。したがって、明日からの臨床に役立つ腎生理のイロハから、腎生理学発展のこぼれ話が聞けること間違いなしです。また Cowley 先生は教育者としてもご高名で、先生のもとで学ばれた先生方は臨床と研究の両面で活躍されています。日本人を含む多くの専門家を輩出されてきた Cowley 先生から、研究の極意を学んでみませんか。本セッションは、Cowley 先生から参加者の研究についてはもちろん、研究留学などキャリアパスに関しても助言をいただける貴重な機会です。初学者から参加でき、アットホームに討論ができるセッションです。ぜひご参加下さい。ご要望等も遠慮なくモデレーターにご相談ください。

【講演スケジュール】

セッション名：招請講演 3

日 時：2017 年 5 月 28 日（金） 11:00～11:50

会 場：第 1 会場（仙台国際センター 会議棟 2 階 大ホール）